科目名	臨床薬理学	担当教員 （研究室番号）	林　辰弥（５０７） 辻本雄大（非常勤）	教員への連絡方法 （メールアドレス）	tatsuya.hayashi@mcn.ac.jp

履修年次	1年次 後期	科目区分	共通科目Ⅰ	選択区分	選択	単位数 （時間）	2(30)	授業形態	講義	科目等履修生	可
										遠隔授業	否

科目目的	症状調整が必要な慢性疾患や、緊急対応が必要な各種疾患の治療に用いられる代表的な薬物について、使用頻度の高い順にその作用機序・副作用・注意事項に加えて、投与後のモニタリング・生活調整などの方法、回復力や患者の服薬管理能力の向上を図るための知識や技術を学ぶ。	
ﾃﾞｨﾌﾟﾛﾏ・ﾎﾟﾘｼｰ（DP）	主要なDP	７．看護学の特定分野における卓越した看護実践能力を修得している。
	関連するDP	１．多様化・複雑化・高度化する看護ニーズを的確に捉え、看護の特定領域における高度な看護実践能力や総合的な調整能力を身につけている。
到達目標	1. 薬が効く仕組み、薬の体内動態を理解できる。 2. 各種感染症治療薬、抗がん薬の使用場面を判断できる。 3. 生活習慣病の治療に使われる薬物の使用場面を判断できる。 4. 統合失調症治療薬、抗うつ薬、抗不安薬の使用場面を判断できる。 5. 抗炎症薬・抗アレルギー薬の使用場面を判断できる。 6. 血栓症治療薬の使用場面を判断できる。 7. 循環器・呼吸器・消化器系作用薬の使用場面を判断できる。 8. 慢性疾患や緊急対応が必要な疾患については、薬物投与後のモニタリングの必要性を判断でき、患者に適した生活調整や服薬管理能力の向上のための方策を提案できる。	
成績評価方法（基準）	出席日数（3分の2以上を必要とする） レポート（70点）、授業への参加度（30点）	
教科書	定めない	
参考書等	図解薬理学　南山堂	
受講者へのメッセージ	臨床では、1つの薬物が多くの疾患の治療に用いられる場合があり、看護師としてそれを疑問に思うとともに、使用時には戸惑う場面が増えてきているように思われる。本講義で、1つでも多くの疑問を解決してください。	
備考		

回	学習項目	学習内容	主担当教員	授業方法
１回	薬理学の基礎	薬が効く仕組み、薬の体内動態	林	対面（講義）
２回	各種感染症治療薬の作用機序と適応症例	抗菌薬、抗真菌薬、抗ウイルス薬などについて、それぞれの作用機序、適応症例、使用上の注意点、有害作用などを学ぶ	林	対面（講義）
３回	抗がん薬の作用機序と適応症例	アルキル化薬、代謝拮抗薬、植物アルカロイド、分子標的薬など、種々の抗がん薬の作用機序、適応症例、使用上の注意点、有害作用などを学ぶ	林	対面（講義）
４回	鎮痛薬の作用機序	中枢性鎮痛薬、末梢性鎮痛薬などについて、それぞれの作用機序、使用上の注意点、有害作用などを学ぶ	林	対面（講義）
５回	高血圧治療薬の作用機序	交感神経遮断薬、ACE阻害薬、ARB、カルシウム拮抗薬、利尿薬などについて、それぞれの作用機序、使用上の注意点、有害作用などを学ぶ	林	対面（講義）
６回	糖尿病治療薬の作用機序 脂質異常症治療薬の作用機序	I型糖尿病治療薬としてのインスリンの使用法、及び種々のII型糖尿病治療薬の作用機序、有害作用などを学ぶ 各種脂質異常症治療薬の作用機序、使用上の注意点、有害作用などを学ぶ	林	対面（講義）
７回	生活調整を必要とする慢性疾患患者の薬物療法に関する事例演習	悪性腫瘍や糖尿病などの慢性疾患の管理について、生活調整による患者の回復力の促進や薬物療法と関連させ、看護過程を展開する	辻本	対面（講義）
８回	統合失調症治療薬の作用機序と使用上の注意	定型抗精神病薬、非定型抗精神病薬の作用機序、適応症例、使用上の注意、有害作用などを学ぶ	林	対面（講義）
９回	抗うつ薬の作用機序及び使用上の注意 抗不安薬の作用機序及び使用上の注意	三環系、四環系、SSRI、SNRIなどについて、その作用機序、使用上の注意点、有害作用などを学ぶ ベンゾジアゼピン系抗不安薬などについて、その作用機序、使用上の注意点、有害作用などを学ぶ	林	対面（講義）
10回	抗炎症薬の作用機序及び使用上の注意 抗アレルギー薬の作用機序と適応症例	非ステロイド性抗炎症薬、ステロイド性抗炎症薬などについて、それぞれの作用機序、使用上の注意点、有害作用などを学ぶ ヒスタミンH_1受容体遮断薬などの作用機序、使用上の注意点、有害作用などを学ぶ	林	対面（講義）
11回	血栓症治療薬の作用機序と適応症例	抗血小板薬、抗凝固薬などについて、それぞれの作用機序、使用上の注意点、有害作用などを学ぶ	林	対面（講義）
12回	循環器系疾患治療薬の作用機序と使用場面	狭心症治療薬、心不全治療薬、不整脈治療薬などについて、それぞれの作用機序、使用上の注意点、有害作用などを学ぶ	林	対面（講義）
13回	消化器系疾患治療薬の作用機序と使用場面	消化性潰瘍治療薬、下痢・便秘治療薬などについて、それぞれの作用機序、使用上の注意点、有害作用などを学ぶ	林	対面（講義）
14回	呼吸器系疾患治療薬の作用機序と使用場面	喘息治療薬、去痰薬などについて、それぞれの作用機序、使用上の注意点、有害作用などを学ぶ	林	対面（講義）
15回	退院後の生活調整と服薬管理能力向上を必要する急性疾患患者の薬物療法に関する事例演習	心筋梗塞や脳梗塞などの具体的な症例について、線溶促進剤投与などの緊急応急措置と投与後の患者モニタリング、退院後の生活調整と患者の服薬管理能力の向上などを盛り込んだ看護過程を展開する	辻本	対面（講義）